

郡山普及だより Yes! 農!!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1
TEL:024-935-1310 FAX:024-935-7030



【大豆の収穫作業】

大豆生産モデル 経営体の紹介

主食用米の需要が年々減少する中で、国産需要が高まっている麦類や大豆などを水田で生産拡大することが求められています。県中農林事務所では、郡山市日和田地区の大豆生

産法人をモデル経営体として設定し、優良事例として栽培体系や導入技術、収益性などを調査しています。

モデル経営体では、水稻約66ha、大豆約24haを作付けしており、安定した収量と高品質な大豆を生産するため、湿害対策効果の高い畝立同時播種、ドローンによる病害虫防除など、様々な栽培技術を積極的に導入しています。また、5月は水稻の田植え作業、6月は大豆の播種作業を行うなど、作業時期の分散により大規模面積に対応しているほか、大豆の収益による安定した農業所得の確保が図られています。

家畜排せつ物由来の堆肥を有効活用しましょう!

家畜ふん堆肥には土づくり効果があり、窒素、リン酸、カリウム等の肥料成分を含みます。家畜ふん堆肥の肥料分量を考慮して化学肥料の施用量を減らすと、コスト軽減にも繋がります。

郡山市では、たい肥の利用促進を図るため、「郡山市堆肥マップ」を作成し公表しています。

耕種農家の皆さまには、積極的にたい肥を活用していただき、土づくりから持続的な農業の実践をお願いします。



なしジョイント仕立て栽培を推進しています

5月7日に郡山市熱海町の現地ほ場で、今年度1回目の「なしジョイント仕立て栽培研修会」を開催し、参加した生産者の方々へ、ジョイント仕立て栽培の課題の一つである側枝確保の技術について紹介しました。

当農業振興普及部では、なしの早期成園化や作業性向上の効果が期待できるジョイント仕立て栽培を推進しており、郡山地域における導入者数、導入面積は年々増加しています。今後も栽培技術の導入拡大に向けた活動を続けてまいります。



【接ぎ木作業による側枝確保技術の研修】

地域の農業を話し合う「協議の場」へ参加しましょう

「地域計画」とは、農業者や地域の皆さんの話し合いで作る、地域農業や農地利用の将来の姿を明確化した設計図です。

郡山市では、旧市町村をベースに14地区に分けて「地域計画」の策定を進めており、各地区ごとに「協議の場」が開催され、参加者から御意見等をいただいています。

「協議の場」は、どなたでも参加可能ですので、各地区の将来の農業の話し合いに積極的に御参加ください。

熱中症対策について

農作業中の熱中症の発症は7～8月に集中しており、近年増加傾向にあります。令和6年は例年より暑くなることが予想されておりますので、より一層の注意が必要です。対策として、高温時の作業や単独作業を避け、こまめな休憩と水分・塩分補給や着用系冷却アイテム（ファン付きウェアやネッククーラー等）を活用しましょう。

GPS活用によるスマート農業加速化推進事業について

郡山地域でもGPS技術を活用した直進アシスト田植機やドローンの導入が進んでおり、作業の省力化が図られています。県ではスマート農業の普及拡大に向けて、より精度の高い位置情報を提供できるよう、今年度、RTK（リアルタイムキネマティック）の固定基地局を整備いたします。RTKとは固定局と移動局の受信機で複数の衛星から電波を受信して位置

情報を得る技術です。その誤差は数cm以内で、対応するドローンやGPS田植機等の作業性能の向上が期待されます。固定基地局は令和7年1月より稼働予定です。利用法等については農業振興普及部にお問い合わせ下さい。



【ドローンによる農薬散布】

農薬を使用する時は、必ずラベルをよく確認して 使用基準を遵守しましょう！

県では、農薬の安全かつ適正な使用を推進しています。

農薬の使用に当たっては、①必ずラベルを見て**適用農作物**を確認する、②**使用量・希釈倍数**を確認する、③**使用時期**を確認する、④**有効成分ごとの総使用回数**など、使用基準を確認しましょう。

農薬散布後は、器具の洗浄を十分に行ってください！

「収入保険」は様々なリスクから農業経営を守る保険です

「収入保険」は、自然災害だけでなく価格低下等による農業収入の減少を補てんする、農業経営品目全体を対象とした保険です。

青色申告の実績が1年分ある農業者（個人・法人）であれば、どなたでも加入できます。

新規加入申込は、令和6年12月末までになります。

詳しくは郡山市内の農業共済組合までお問い合わせください。

●NOSA | 福島HP：<https://fukushima-nosainet.jp/insurance>



農業振興普及部からのお知らせ

「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」受講生募集中！

当農業振興普及部では、新規就農者のフォローアップや研修会の開催など、農業担い手の確保・育成に向けた取組を重点的に行っています。今年度も、就農から5年以内の新規就農者を重点対象者と位置づけ、巡回等により栽培管理支援を行うとともに、農業に関する基礎的な知識や技術を習得する研修会「郡山農業塾」を開催しています。

第1回「郡山農業塾」は、9月18日(水)に県農業総合センター職員による病虫害防除に関する講義及び現地ほ場の視察、試験研究の紹介等を行う予定です。新たに農業を始めた方、農業を始めたい方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳細は当部までお問い合わせください。(電話：024-935-1321)

▶今後の研修会（予定）

	研修内容	開催時期	講師
1回	病虫害防除	9月18日(水)	福島県農業総合センター 職員
2回	栽培技術	11月	福島大学農学群食農学類 教授
3回	土づくり	12月	福島大学農学群食農学類 教授
4回	経営計画	1月	指導農業士等 若干名



職員紹介

令和6年度の農業振興普及部は、以下の30名で活動していきます。よろしくお願いたします。

所属	職名	氏名	
	部長	半沢 伸治	
	主幹(兼)副部长	山田 英雄	■
農業振興課	課長	鈴木 庄一	
	主査(キャップ)	我孫子 佳央里	■
	主査	水野 善英	
	主査	橋本 周子	
	主査	白川 美波	■
	副主査	鈴木 詩帆里	■
	副主査	馬場 聡子	
	主事	猪狩 真里	■
	専門員	積口 和司	
	会計年度任用職員	佐々木 健一	
	会計年度任用職員	菅家 美砂子	■

所属	職名	氏名	専門	
地域農業推進課	課長	一條 茂雄	果樹	■
	主任主査	横田 和子	畜産	
	主査	濱名 健雄	作物	■
	副主査	梅津 輝	作物	
	技師	中嶋 廉	畜産	
	専門員	荒井 義光	作物	
	専門員	田中 純子	畜産	■
	経営支援課	課長	柳沼 久美子	果樹
主査(キャップ)		妹尾 毅	畜産	■
主査		齋藤 克彦	野菜特産	
副主査		畑 有季	野菜特産	
技師		青木 大祐	野菜特産	■
技師		松岡 慶都	果樹	
主事		小林 陽子		■
専門員		佐久間 光子	花き	
専門員		増子 俊明	果樹	
専門員		小檜山 厚	野菜特産	■

転入者 ■